

13:30 開会あいさつ 湯上 浩雄 教授 東北大学 副理事(大学院改革)、大学院工学研究科機械系主任専攻長

13:35 講演「宇宙・人・夢をつなぐ」

山崎 直子 氏 宇宙飛行士/日本ロケット協会理事・「宙女(Sorajo)ボード」委員長

千葉県松戸市生まれ。1996年東京大学大学院航空宇宙工学専攻修士課程を修了後、NASDA(宇宙開発事業団、現・宇宙航空研究開発機構/JAXA)に入社。1999年国際宇宙ステーション(ISS)の宇宙飛行士候補者にも選ばれ、2001年認定。2004年ソユーズ宇宙船運航技術者、2006年スペースシャトル搭乗運用技術者の資格を取得。2010年スペースシャトル・ディスカバリー号で宇宙へ。ISS組立補給ミッションSTS-131に従事した。2011年JAXA退職。内閣府宇宙政策委員会委員、日本宇宙少年団(YAC)アドバイザー、松戸市民会館名誉館長などを務める。
著書に「宇宙飛行士になる勉強法」(中央公論新社)、「夢をつなぐ」(角川書店)、「瑠璃色の星」(世界文化社)など。



(C) MIWAKATOH

休憩(15分)

14:50 パネルディスカッション ● 宙女のお仕事紹介&ロケット打上サークルの紹介
● 質問コーナー

ファシリテーター

大貫 美鈴 氏 スペースアクセス株式会社代表取締役/宇宙ビジネスコンサルタント

清水建設株式会社、宇宙航空研究開発機構での勤務を経て独立、宇宙ビジネスコンサルタントとして、国内外の商業宇宙開発の推進に取り組む。2015年から経済産業省国立研究開発法人審議会臨時委員。
著書に「宇宙ビジネスの衝撃」(2018年)、「来週、宇宙に行きます」(2008年)、「宇宙で暮らす道具学」(2008年、共著)など。日本女子大学卒業、東京都出身。宙女ボードメンバー。



パネリスト

福永 美保子 氏 株式会社IHIエアロスペース 営業部 課長

1995年東京農工大学大学院工学研究科機械システム工学専攻博士前期課程修了後、日産自動車 航空宇宙事業部に入社、IHIへの事業部統合後にIHIエアロスペースへ転籍。熱・流体解析業務に18年間従事。5年前に宇宙関連の営業部へ移動し、主に宇宙利用関連を担当。宙女ボードメンバー。夫と二人暮らし。



白石 紀子 氏 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 第一宇宙技術部門 H3プロジェクトチーム 技術領域主幹

2002年東京都立科学技術大学力学システム工学専攻修士課程修了後、宇宙開発事業団(現JAXA)に入社し、種子島宇宙センター発射管制課に勤務。その後、筑波宇宙センターにてH-IIAプロジェクトチーム、H-IIBプロジェクトチームに所属し、2009年9月より発射指揮者として3機のH-IIBロケット打ち上げに携わる。現在は2020年度打上げ予定のH3ロケットの開発を行っている。一女の母。



保江 かな子 氏 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 航空技術部門 数値解析技術研究ユニット 研究開発員

岡山県岡山市出身。岡山県立朝日高等学校、東北大学工学部機械知能工学科卒業。2010年東北大学大学院工学研究科博士後期課程修了後、宇宙航空研究開発機構(JAXA)入社。研究開発本部 流体グループ、風洞技術開発センター、航空技術部門 次世代航空イノベーションハブ、事業推進部を経て、2018年より現職。数値流体シミュレーションによる空力特性推定が専門。一男の母。



金丸 萌菜 さん 東北大学工学部機械知能・航空工学科 東北大学ロケット製作・打上サークルFROM THE EARTH 元代表

仙台市出身。宮城県仙台第一高等学校卒業後、東北大学工学部機械知能・航空工学科入学。学生の手でロケットを製作し、打ち上げるサークルFROM THE EARTHの一員として、液体燃料と固体燃料を使用したハイブリッドロケットの打ち上げや、子供たちへのロケット教室等を実施。プロジェクトマネージャーや団体代表を歴任。現在は同大学流体科学研究所伊賀研究室に所属し、液体ロケットエンジンターボポンプに発生するキャビテーション不安定現象の抑制方法について、JAXA角田宇宙センターとの共同研究に従事している。



16:05 閉会あいさつ 田中 真美 教授 東北大学 総長特別補佐(共同参画)、大学院医工学研究科/工学研究科、機械・知能系男女共同参画委員会